

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和7年度)

調査表

施設名	宮崎県屋外型トレーニングセンター
指定管理者	シーホース宮崎 代表構成員 株式会社 馬原造園建設
指定期間	R5.4.1～R8.3.31
県所管部課	スポーツランド推進課

1 施設利用状況

指 標	R7	R6	R5	増減理由等
利用者数(人)	31,338	27,363	30,638	ラグビー日本代表やJリーグチームの継続した合宿利用に加えて、世界陸上イギリス代表など、新たな代表チームの受入も利用者総数の増加に繋がっている。
利用件数(件)	1,460	1,199	1,099	
利用料金収入(千円)	15,640	16,541	11,631	
コメント	利用者数、利用件数は過去最高であり、利用料金収入についても想定を大きく上回る状況である。今後もプロ・代表チームの合宿受入を主としながら、並行して一般利用者数の増加にも努める必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R7	R6	R5	支出	R7	R6	R5
指定管理料	52,800	52,800	52,800	人件費	14,424	15,167	13,426
利用料金収入	15,640	16,541	11,631	光熱水費	8,715	8,847	6,852
物価高騰対策		569	1,952	施設維持管理費(芝管理肥料・資材、機器賃借料等)	24,273	20,556	20,880
				施設運営管理費(施設管理委託料、消耗品等)	26,405	26,890	25,864
				利用料金納付金	3,682	4,132	1,677
合計(①)	68,440	69,910	66,383	合計(②)	77,499	75,592	68,699
収支差額(①-②)	-9,059	-5,682	-2,316				
コメント	年間を通してプロチームやナショナルチームの受入環境を整える必要があったことから、芝管理に要する費用が大きくなり、赤字決算となっている。 今後は良好な施設環境を維持しながらも経費削減に努めるとともに、安定した利用料収入を確保していく必要がある。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和7年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容
維持管理業務	清掃 日常清掃
	保守・点検 アクセスポイント保守、消防設備保守、電話保守点検、保安監督業務
	警備 機械警備、巡回警備(夜間)
	修繕 芝生用機械整備点検
	備品等管理 備品点検(日常点検、随時点検)
	安全対策 センター全域巡視
	その他
企画運営業務	サービス提供体制整備 ホームページの管理運営、SNS(Instagram、Facebook)による情報発信
	イベント等ソフト面充実 サッカー教室の実施、キッチンカー販売、備品貸出
	施設設備等ハード面充実 プロ・代表チームの要望に応える練習環境整備(芝の管理等)
	その他 なし
管理運営体制	職員研修の実施、出勤時及び退勤時のアルコールチェックを実施
コメント	利用者が安心安全に施設を利用できるよう、引き続き適切な管理運営を行い、より良いサービスの提供に努める必要がある。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	施設内に設置した調査票への回答(R7.4～R8.3 ※回答者31名)、利用者へのヒアリング
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
貸切利用時の未使用施設、時間帯での利用開放について	県と情報共有し、今後の利用のあり方に向けた検討を実施
トレーニングルーム利用条件の緩和	

5 総合評価

評価コメント	施設環境については前年度に引き続き利用者から高い評価を得ており、利用者数、利用件数も過去最高となっている点は評価できる。
今後の課題と対応	管理費用の低減化・平準化を図り、収支の黒字化に向けた取り組みが必要。